

《各学年の特徴》

- 3年 身近な地域や市の様子について、人々の生活と関連付けながら理解し、白地図等にまとめることができる。
- 4年 東京都の様子について、人々の生活との関連を踏まえて理解し、必要な情報を調べ、協動的にまとめることができる。
- 5年 日本の国土や産業を支える人々について、自分たちの生活と照らし合わせて考え、地域による生活の違いに気付くことができる。
- 6年 学習に対する意欲はあり、歴史上の人物や出来事について正しく理解しているが、それらについて自分の考えたことを基に議論する力には、個人差が見られる。

《学力調査から見られる指導の重点》

- ・複数の資料から、必要な情報を選んで正しく読み取る。
- ・東京都の区市町村名や、それらの場所を理解する。

育てたい力（課題）

- 3年 身近な地域や市の様子について見方・考え方を働かせ、学習の問題を追究・解決する活動を通して、主体的に学習の問題を解決しようとする力。
- 4年 社会的事象の特色や相互の関連、意味を考える力。社会に見られる課題を把握して、考えたことや選択・判断したことを表現する力。
- 5年 日本の国土や産業の特色について、地図帳や地球儀、統計資料などの各種資料を通して、適切に調べ、まとめる力。
- 6年 社会的な事象と事象を関連付ける力。資料を読み取り、そこから自分が考えたことを表現する力。

☆授業改善の具体策☆

- ・地図の活用 ・資料集の活用 ・統計資料の活用 ・ICT機器の活用
- ・地域教材の活用 ・地域人材の活用 ・思考ツールを活用したノート指導
- ・対話、話し合いの場の設定 ・思考、判断、表現する場の設定 ・メディアを活用した時事的話題の関連化 ・ホワイトボードの活用

《知識及び技能》

《思考力・判断力・表現力等》

《学びに向かう力》

- 3年 小金井市について、地理的環境や産業の様子、移り変わりについて、自分や周りの人の生活を想起させることで、人々の関連を踏まえて理解する。また、地図の活用や資料提示の方法を工夫し、資料活用能力の育成を図る。
- 4年 東京都の様子について、必要な情報をまとめることができるように、社会科見学などの調査活動を設定したり、具体的な資料を提示したりする。
- 5年 地図や資料集、統計資料を活用し、国土や産業の特色について基礎的な知識の定着を図る。
- 6年 事象と事象の関連を考えることにより、理解を深められるように、複数の資料を提示する。

- 3年 ICT機器を思考ツールとして活用することで、自分の考えや友達のことを比較、整理し、小金井市の特色について考える力を養う。
- 4年 年表や思考ツールなどで必要な情報をまとめ、交流することで、東京都の特色や相互の関連、意味について考える力を養う。
- 5年 資料を選択できるようにし、必要な情報を各種資料から読み取り、社会的事象の特色や相互の関連を多角的に考え、表現する力を養う。
- 6年 各種資料を効果的に活用し、児童同士の意見交換から、事象と事象とを関連付ける社会的思考力や多様なものの見方・考え方を養う。

- 3年 地域人材を活用したり、具体物や体験を取り入れたりして、地域社会への愛着を育む。
- 4年 地域教材を活用し、地域に関心をもたせたり、地域の課題を考えさせたりすることで、地域社会への愛着を育む。
- 5年 産業にかかわる人々の思いや考えを調べることを通して、社会的事象に対する興味・関心を高める。
- 6年 ICT機器を活用し、新聞、ニュース、調べ学習等で関連する事項を取り上げ、社会的事象に対する興味・関心を高める。